

日本学術会議会長談話
「ウクライナ国立科学アカデミーへの攻撃について」

日本学術会議は、死傷者を伴い、ウクライナの主要な学術研究機関であるウクライナ国立科学アカデミーに被害をもたらしたロシアによる攻撃を強く非難します。

学術研究は、人類共通の公共善である知的資産の創出と継承を担うものであり、研究機関や研究施設はその活動を支える重要な基盤です。こうした学術基盤への被害は、当該機関のみならず、国際学術コミュニティ全体にとっても大きな損失です。

日本学術会議は、ウクライナ国立科学アカデミーをはじめ、困難な状況の下にあるウクライナの研究者、学者及び事務職員の皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、困難に立ち向かい、研究活動の継続に尽力されている同国の学術コミュニティに対し、深い敬意と連帯の意を表します。

国際学術コミュニティの一員として、日本学術会議は学問の自由の擁護、国際的な学術協力の推進及び知の平和的发展への貢献という使命を改めて確認します。今後も、ウクライナの研究者及び研究機関と連帯し、その活動を支えてまいります。

令和8年10月1日
日本学術会議会長 加藤 和人